

JGSNL004 号に寄せて

JGS 理事長 伊藤 彰

3月1日から開催された HKTDC 主催の March Gem & Jewellery Show で2日に開催された GIA セミナーを聴講（講師は Dr. Wuyi Wang, Director of Research and Development, GIA）しました。この10年間における合成ダイヤモンドの製造技術の革新による生産量の増加とメレーダイヤモンドの市場への浸透状況が報告されました。

先月ご紹介しました、GIA ダイヤモンドレポートが付いた CVD がアリババのネット上で販売されていた事、内部通報者が存在する GIA ダイヤモンドレポートの改竄についても、GIA 副社長の Mr. Tom Moses から説明がありました。が、セミナー会場での反応は関心の高さを伺わせませんでした。GIA ダイヤモンドレポート付き CVD については歴然とした詐欺行為であり、データベースへの不正アクセス、レポート改竄行為は犯罪行為として既に対処されていることもあり、聴講者にとっては身近な事として認識されないように観じました。私達トレーダーにとって大切なことは、目先の利益に囚われることなく正しい倫理観を保って取引を進めていくことだと思います。

宝石産出国は一般的に開発途上国に多く見られ、鉱山開発や原石取引に従事している人達には日々の生活が大変厳しい状況下にある人もあり、その人達に正しい倫理観を持たせることはなかなか難しいことではあります。が、私達は世界でも第3位の宝石消費国に住していて、消費者に近いところで商売をしています。このような市場環境の中、私達業界団体の役割は、その加盟社において正しい知識の共有・普及とその情報開示を真摯に行うことにより、川上から川下に至る市場での流通環境を透明性のあるより良いものとしていくことにあると思っています。1社、1社が正しい倫理観（社会通念として共有されるもの）を持って仕入・販売を行っていく過程で、それぞれの取引社に対しても同じような倫理観を持って取引して行こうとの輪を広げていくことによって、より良い流通環境が整備されていくのです。怠らずに情報開示をしていきましょう。

さて、1日からの AWE での素材の展示会、3日からの Wan Chai での製品の展示会と両会場を訪れましたが、昨年来の中国経済の失速の煽りを受け商売は低調であったようです。両会場を訪れて感じたことは、素材も製品も流通在庫の量の多さに圧倒されたということです。品物が動いている時には感じなかったと思いますが、物が停滞しているせいか、これでもかという商品量に気分が悪くなるほどで、末端で動かない市場動向を表していると思いました。そんななかではありますが、日本からの出展者に在っては、中国系の顧客をしっかりと捉えて商売をされている方もあり、先駆的に海外出展を展開されてきた業者さんの苦勞が報われているなども感じました。また、友人の海外出展者達からは、ブース位置で来訪者、商売の多寡が決まってくると聞きましたが、景気が悪い時ほどこの傾向は強まるようです。今回の展示会では、ある程度商売出来た会社もあったようですが、低調だった会社が大多数だったと思われます。以前のような中国経済の回復は見込めないとの予測のもと、各社ともに足元（日本）での売り上げ戦略、海外展開を見直す時期にあるように思います。